

甲11 平成30年12月3日のクレーム時の音声ファイルの文字起こし				
時間	原告(愛犬の飼い主)	ミセチ タマカ副院長	原告によるこの会話時の補足説明	原告によるこの会話時の補足説明
		原告さーん	原告はかなり頭に来ていて必死に気持ちを抑えていた	
		どうしました？	11月26日の態度とはまるで違う通常のみせち たまか副院長の態度に驚く、みせち たまか副院長は惚けてしまっている	
	だからカルテと検査結果と画像データとください		11月26日の注射後、愛犬の症状は悪化していたのですすでに裁判すると決めていたので愛犬がどうなったかは一切漏らすまいと思い、愛犬のその後の情報を渡さなかった	
		どうなさいました？愛犬ちゃん調子が悪い？		
	言う必要ないからください		言わなかった理由二つとして、もし言った場合は診療継続ととられ11月26日の注射について同意したととられることを恐れたからである。	この日の目的はカルテ奪取であり、その目的が達成されたため他の余計なことは言わなかった。またラエンネックについての説明が必要であったということはまだこの時に理解していなかった
		USB預かりましたよね		みせち たまか副院長は保身に走った。聞いてもいないことをべらべらしゃべり口調や態度をこの短時間のうちに変化させている。無説明なのに説明したと大ウソをついている。また愛犬が痛がったことは認めていてその際半べそになった口調になっていることはギャクタイ注射の自白である
		どうしたのかな？カルテを今までのカルテをということですか		私は興奮しあんたの言い方が気に食わないといったが、信頼していた先生に対し怒ることの疲労もあったし、態度もあるが、本当は愛犬にあんな痛めつけた注射をしたことも言いたかった。
	黄色い(紙の)検査データ			
		あその後調子が悪くなっちゃった？		

		確かに値が高かったのでお話ししたと思うんですけど	薬、注射について全く無説明だった。ミセチ タマカ副院長は嘘ついている。話題に上がっていない薬についての説明の有無についての嘘を自発的に述べている、保身、予防線を張ってきた。	
	説明する必要ない		愛犬は転医させたので、愛犬の注射後の予後を説明する必要はない。話したら治療継続ととられかねない。	
		診てた私としてはさあ愛犬ちゃん心配だからどうしたのかなーと	砕けた言葉使いをしだし、すり寄り、穏便に済ませようとするミセチ タマカ副院長の態度の変貌	
		調子が悪くなっちゃったということですね		
	こないだのあんたの態度が気に食わなかったから		オブラートに包み、気持ちを抑えた。本当は強烈な力で行った注射について、二つの瓶を見せたときのこと聞きたかったがあえて言わなかった	
		どういう態度？	強烈な力で行った注射について惚けるミセチ タマカ副院長	
	注射の時の			
		注射？		
	注射が好きな犬、嫌いな犬			
	注射が好きな人、嫌いな人ってみんなそうですよね			
	あなた打ちます？注射ここで、痛いでしょ？			
	その時の態度がおかしかったから			
		はーそうなんですね		
	もう嫌なんです			
		本当に申し訳ない、不快に思わせてしまって申し訳ない	カルテを入手し、ミセチ タマカ副院長も一応謝った、行いを認めたから、この日はそれでいいとおもった。	
		で、愛犬ちゃんはどうなんですか？		
	もう教えない			
		愛犬ちゃんあの時注射痛がったんだよね	11月26日のミセチ タマカ副院長の発言(注射が痛いかな？オー)と行為(ミセチ タマカ副院長は二度刺しの強烈な力を込めた注射で愛犬が痛がった。痛い注射を意図的に行ったこと)を認めた。	

		じゃあデータ今移しますん でお掛けになって待ってて ください		
--	--	--------------------------------------	--	--